

提携ニュース 2024 (第 54 号) 60 周年記念特別号

とよなか・サンマテオ
姉妹都市 60 周年記念事業
WELCOME FROM SAN MATEO, U.S.A.!!



サンマテオ少年野球親善交流団の選手たちが豊中へやってくる！



\ CHECK HERE! /





TOYONAKA ○ SAN MATEO sister city relationship 60th anniversary

とよなか・サンマテオ姉妹都市60周年



1963年10月4日に姉妹都市提携を締結してから、60年。記念すべき年を迎えた2023年10月、ホストシティとしてサンマテオ市からアモーレンス・リー市長を含む40人の親善訪問団をお迎えしました。期間中は様々なイベントが開催され、たくさんの市民の方にもご参加いただき、これまで両市の交流が育んできた絆を称賛するお祝いムードに包まれる一週間となりました。

市民からの公募で選ばれたサポートスタッフにも準備段階から参加していただき、将来の交流事業の発展にもつながる記念事業を実施することができました。

令和5年度（2023年度）姉妹都市提携60周年記念事業の主なプログラム

	時間	スケジュール内容	場所
10月3日 (火)	16:00	親善訪問団、新幹線で新大阪駅へ到着～豊中市へ	新大阪駅
		豊中市役所へ	豊中市役所前到着
	17:00	出迎え～豊中市市長表敬訪問 公式ギフト交換	豊中市役所第二庁舎ロビー
	18:00	ホストファミリー対面式	第一庁舎2階大会議室
	20:00	歓迎交流会	千里阪急ホテル
10月4日 (水)	9:00	60周年のあゆみ展示 ～書道体験&横断幕制作～	豊中市立文化芸術センター多目的室
	10:00	60周年記念式典 宣言書署名・感謝状授与	豊中市立文化芸術センター小ホール
	12:00	レセプションランチ	豊中市立文化芸術センター多目的室
	14:00	レッドウッド植樹式	二ノ切池公園バラ園
	17:00	60周年記念特別開会セレモニー 親善試合第一試合（90分）	豊中ローズ球場
10月5日 (木)	10:00	学校訪問～授業体験～給食体験	豊中市立庄内西小学校
	12:30	サウンドステーション木曜コンサート 豊南市場見学	サウンドステーション 豊南市場
	17:00	親善試合第二試合	豊中ローズ球場
10月6日 (金)	半日	アモーレンス・リー市長一行市内視察へ	防災倉庫、貯留管、クリーンランド
		訪問団京都半日観光へ	京都市内観光
	16:30	BBQ ナイト	服部緑地公園 バーベックマルシェ
10月7日 (土)	9:00	親善試合第三試合	豊中ローズ球場
	18:30	サンマテオクラブ交流会	すてっぴホール
10月8日 (日)	9:00	親善試合第四試合	豊中ローズ球場
	11:00	昼食&レクリエーション	
	13:00	親善試合第五試合（雨天中止）	
	18:00	さよならパーティ（新型コロナの影響で中止）	豊中市立文化芸術センター多目的室
10月9日 (月祝)	10:00	ホストファミリーセレモニー	豊中市役所第二庁舎ロビー
	14:00	関西国際空港 14:00 出発	関西国際空港

10月3日（火） 豊中市長表敬訪問 豊中市役所第二庁舎ロビー



姉妹都市提携60周年事業最初の公式行事である豊中市長表敬訪問。サンマテオ市親善訪問団はアモーレンス・リー市長とご家族の6人、少年野球選手20人、野球監督とサンマテオ姉妹都市協会員14人の総勢40人。豊中市議会議員や市役所職員も一丸となってお迎えしての表敬訪問でした。公式ギフト交換は、豊中市からは玉井町に「久保修切り絵ミュージアム」を有する切り絵アーティスト

久保修さんの作品、「清水寺」を贈りました。一方、サンマテオ市からは日本とアメリカの国鳥と、両市の市花をあしらった若手アーティスト描きおろしのアクリル画を頂戴しました。長内市長からは「この60年を支えてくれた先人に感謝し、この記念すべき年に豊中市へお越しいただいた皆様を心より歓迎したい」と歓迎のあいさつをいただきました。訪問団全員と、豊中の少年野球選手、姉妹都市協会員と関係者の皆さまにもお集まりいただき、一週間にわたる周年記念事業の成功への決意を新たにする表敬訪問となりました。

10月3日(火) 歓迎交流会 千里阪急ホテル



初日の夜には豊中市と豊中・サンマテオ姉妹都市協会の共催で歓迎交流会が開かれました。豊中市長をはじめ、豊中市議会議員や協会関係者、通訳やサポートスタッフなど含めて55人に参加いただきました。オープニングには日本センチュリー交響楽団から弦楽四重奏の演奏を披露いただきました。ホストを代表して國貞会長よりご挨拶申し上げ、和やかなムードに包まれる歓迎会となりました。



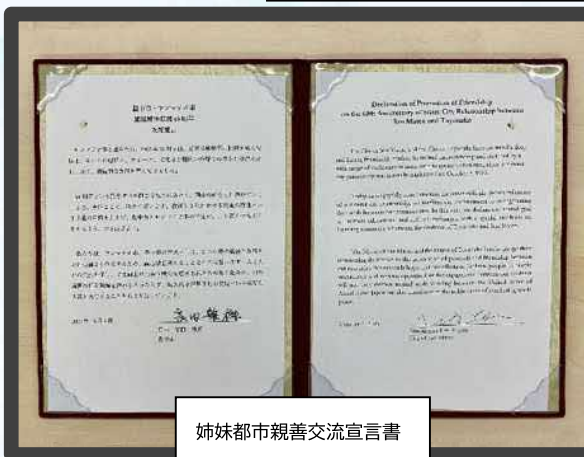
10月4日（水）豊中市・サンマテオ市姉妹都市提携60周年記念式典



豊中市立文化芸術センター小ホールで行われた姉妹都市提携60周年記念式典にて豊中市関係者とサンマテオ市親善訪問団



サンマテオ市アモーレンス・リー市長、豊中市長内繁樹市長が姉妹都市親善交流宣言書に署名



姉妹都市親善交流宣言書



和太鼓演奏 蓮風(RENPU)

姉妹都市提携60周年記念式典は、日本文化に触れてもらおうと、蓮風さんによる和太鼓演奏で華々しく開会しました。

サンマテオ市アモーレンス・リー市長と、豊中市長

内繁樹市長により、これからの将来の親善交流深化についての友好宣言が発せられ、姉妹都市交流50周年から60周年までの10年間に、特に交流事業に尽力された方へ長内繁樹市長より、感謝状が授与されました。

多目的室では書道家の出谷久美子さんによる書道パフォーマンスが行われ、サンマテオ少年野球団には、自分で選んだ漢字を色紙に、自分の名前を横断幕に筆で書き記してもらいました。



蓮風(RENPU)さんと華道家の村司春峰(むらじしゅんぽう)さんによる華道のライブパフォーマンスでは、最後にサンマテオ市訪問団にも活け花体験をしてもらい、会場を大いに盛り上げていただきました。今回のレセプションランチでは、豊中市で活躍するイタリアンシェフ、クッチーナ・カサイの笠井シェフ特性お弁当がふるまわれ、参会の皆さんの会話も弾むレセプションパーティとなりました。



姉妹都市提携60周年記念式典の後は、関係者全員でニノ切池公園のバラ園へ移動し、すっかりと晴れ渡る秋空の下でレッドウッドツリーの植樹式が執り行われました。

2023年の4月に再整備されて開園したばかりのニノ切池公園。レッドウッドツリーのすぐ傍には、姉妹都市

提携25周年と50周年の際にそれぞれサンマテオ市から送られた友好のバラが植えられています。

植樹式の間には豊中市レジデント・アーティストでサクソ奏者の上馬場さんと、ピアニストの謙元（のりちか）さんにライブ演奏で花を添えていただきました。

リー市長と長内市長による記念植樹に続き、リー市長と一緒に来日されたお子さんのサイモンさん、ミアさん、友人のガブリエルさんと、レネエさんにもお手植えに参加してもらいました。レッドウッドはカリフォルニア州に自生する巨木で、大きなものだと幹回りが8m、樹高は100mを超えるものもあり、天に向かって真っすぐと伸びるという特徴があります。

友好のシンボルとして、これから先も大地に根を張り、レッドウッドがまっすぐと大きな木に成長していくことを願って、植樹式に合わせて新調した鍬で、両市長により丁寧に土を被せられました。





この日は一日かけてアモーレンス・リー市長を市内の様々な施設にご案内し、豊中市の取り組みを知ってもらう機会を持たせてもらいました。2022年12月にサンマテオ市長に就任されたアモーレンス・リー市長。就任後すぐの年末に記録的な大雨と洪水という天災に遭われ被災した市民のために奮闘されました。そんな事情を知っていたことから、豊中市の防災対策や、災害時、平常時にも大切なごみ処理施設等を見ていただくことになりました。

熊野田公園 災害備蓄倉庫

まずは危機管理課の協力のもと、熊野田公園の備蓄倉庫とマンホールトイレを見ていただきました。「サンマテオ市の4倍の市民を持つ豊中市だと、ここまで準備の必要があるというのも納得。ハザードマップもとても分かりやすいですね。洪水に山火事、自然災害はサンマテオ市でも課題です。市民一人ひとりが防災バッグを持つように指導されているなんてすばらしい。」と危機管理課の職員と話しておられました。



豊中市伊丹市クリーンランド&リサイクルプラザ



次に訪問したのはクリーンランド。ここでは処理能力の高さもさることながら、ごみ焼却熱を利用して効率的な発電をしていること、剪定枝をチップ化して土壌改良材として活用していることなど、「何十年後のことも見据えて計画を進めるのが日本のいいところね」とサステナブルな施設であることに感心されていた様子でした。

大阪国際空港雨水貯留施設

大阪国際空港での昼食のあとは、上下水道局の職員の立ち合いのもと空港内雨水貯留施設の見学へ行きました。大阪国際空港の滑走路に沿って1.8kmにもわたって巨大なトンネルが地下に埋まっています。今回は特別に地下20mに位置する貯留管へ入らせていただきました。大雨のときにはここにオリンピックの50mプールおよそ18杯分の45,000 m³もの雨水を貯めておくことができるとあって、その大きさにはリー市長もびっくり！ どのくらいの予算が必要だったのか、計画から完成までにどのくらいの年月が必要だったのかと熱心に職員に質問されていました。



服部緑地公園 民家集落博物館

次に向かったのは服部緑地公園の民家集落博物館。リー市長には、記念品として用意していたアンティーク着物を着付けさせてもらい、ボランティアさんが待ち受ける茶室で茶道体験をしていただきました。サンマテオ市にもセントラルパークの日本庭園に茶室があるとのこと。お抹茶をいただきながら、「おもてなしの心にふれることができ、とても嬉しく思います。生活習慣やマナーも学ぶべきことがたくさんありますね。」と話してくださいました。





久保修切り絵ミュージアム

豊中市からの公式ギフトとしてサンマテオ市へ送られた切り絵作品「清水寺」の作家、久保修さんの作品が常設展示されている切り絵ミュージアムにお連れしました。リー市長は写真の作品を特に気に入られ、「どれも素晴らしい作品。日本の四季をこんなにも鮮やかに作品に刻み込むなんて、作品を見た瞬間鳥肌が立ちました！」と感動されていました。観覧の後には、ご家族も一緒に切り絵のワークショップを受けられ、しばらく時間も忘れて集中！素敵な作品が出来上がりました。「創作活動というのはある意味、瞑想のよう。日常を離れられるこうした時間は必要ですね。」とリー市長がおっしゃっていたのが印象的でした。



予定がぎっしりと詰まった一週間でしたが常にすべてのことに積極的に、熱心に取り組んでくださったリー市長。「これだけの事業をご準備なさるのは大変だったでしょう。帰国したらすぐに取り掛かる課題がたくさんあります！姉妹都市交流の推進についても、教育機関や姉妹都市協会、地域の団体とも連携体制を作っていくように働きかけていきたいです。



70周年に向けて動き出しますよ！」と帰国前の会談のときにも意気込みを伝えてくださいました。



10月3日(火)～10月9日(月祝) 少年野球親善交流



豊中市役所に到着したサンマテオ市の選手たちと後方には出迎えの豊中市の選手たちとマチカネくん



豊中市役所第二庁舎ロビーで豊中市長表敬訪問 両市の市長をはじめ親善交流に参加する全選手と、監督、コーチらが一堂に会しました

新型コロナウイルス感染症の影響で2021年のサンマテオ遠征が中止になったため、60周年事業と同時開催をすることになった少年野球親善交流。今回も20人の選手たちがダニー・ハリス団長率いる訪問団として来日し、60周年記念式典などのさまざまなセレモニーと親善試合に参加しました。姫路・広島観光を終え、新大阪駅に到着した後、豊中市役所へ向かい、豊中市の少年野球選手たちに拍手で出迎えを受けました。



ホストファミリー対面式 @豊中市役所第一庁舎大会議室

選手全員で豊中市長を表敬訪問したのち、滞在中お世話になるホストファミリーとの対面式へ。

ドキドキの日本語での挨拶を終えホッとした様子でホストファミリーとそれぞれの家庭へと向かいました。

初の10月開催となった少年野球親善交流は初めてづくし。夏休み期間ではないため、豊中市の選手たちは当然平日には授業があります。そのため、親善試合は放課後に行うこととなり、豊中の選手たちは宿題と野球の両立に苦労されたことと思います。さらに、10月の17時からのプレイボールはナイター試合必須。これも初めてのことでした。親善試合で軟式ボールを使用するというのも今回初の試み。今後は豊中市で開催するときには軟式、サンマテオ市で開催するときには硬式のボールを使おうということになりました。

そして、なんといっても平日にも関わらず選手の受入れに協力して下さったホストファミリーの皆さんには、心より感謝申し上げます。いくつもの難関を乗り越えて実現した今回の親善交流となりました。

少年野球親善交流を支えてくれた10家庭のホストファミリーの皆さん





提携60周年を記念して同時開催することになった少年野球親善交流。今回でサンマテオ市から選手が来訪するのは11回目となりました。開会セレモニーには梅花高校チアリーディング部 RAIDERS (レイダース) の演舞も披露され、迫力のパフォーマンスに場内からは大きな拍手が送られました。

続いて、豊中市消防音楽隊の力強い演奏に合わせて選手入場！豊中チームの選手たちは、ウエストチームとイーストチームの2チームが結成され、合計40人の選手が開会セレモニーに参列。サンマテオチームの選手たちを先導しての選手入場は60の人文字を描きました。

選手宣誓は豊中チームの選手が日本語と英語で行い、国際試合の幕が切って落とされました。



記念すべき第一試合の始球式にバッターとして登場したのは、2023年アンダー18 ワールドベースボールカップのメンバーとして、世界一に輝いた履正社高校の森田選手。実は森田選手自身も過去、サンマテオ市での親善交流に参加された一人ということで、60周年記念に相応しい始球式となりました。





豊中市立庄内西小学校
西口校長先生のオリエンテーション



サンマテオ市の選手たちは平日の午前中を利用して、市内の小学校で授業体験に出かけました。豊中市立庄内西小学校を訪れた一行は、西口校長をはじめ生徒からも熱烈な歓迎を受け、午前中を利用し、英語、音楽、図工、体育の授業を体験しました。サポートスタッフさんに通訳してもらい、同年代同志で思いっきり楽しんで交流する姿は、写真からもひしひしと伝わってくるようです。

しばし野球の対戦を離れてリラックスした様子の選手たちを見ることができました。



ART Class オリジナルデザインのメダル作り！



MUSIC&ENGLISH Class ゲーム感覚で大盛り上がり！



GYMNASTIC Class Dodge Ball 仲良く遊んでも勝負は容赦しない！





学校給食～みんなで「いただきます！」

サンマテオ市ではここ数年予算カットで副教科の授業がなくなりつつあるという一方で、「これだけ楽しい授業をする先生をどうやって採用しているの？西口校長の人徳かしら」とリー市長。初めて自分で配膳する学校給食も体験してもらいました。栄養バランスが考えられた給食のメニューにサンマテオ市訪問団も興味津々の様子。学校給食課、庄内西小学校の先生方、西口校長のご協力のおかげで、期待以上に学校訪問は大成功！



お見送りの瞬間まであたたかく受け入れていただきました。庄内西小学校を後にした一行は庄内駅前へ。豊南市場内にあるサウンドステーション木曜コンサートを鑑賞しました。サンマテオから特別なお客様が来ると伝えていたので、彼らになじみのある曲♪[take me out to the ball game]を演奏してくださいました。その後はお小遣いを握りしめて、豊南市場で駄菓子や雑貨などのお買い物を楽しみました。



サウンドステーション木曜コンサート鑑賞＆豊南市場でお買い物体験



阪急電車に乗って庄内駅から曾根駅まで移動し、歩いてローズ球場へと向かいました。「日本の電車はいつも時間どおりに来るの？」「切符小さいね！」「駅にも道にもゴミが落ちてないね！」終始車移動だと気づかないことも経験してもらえたようです。



この日も豊中チームの選手たちは通常授業があるため一日野球の試合はお休みして、サンマテオ市訪問団は、京都観光へ出かけました。定番の観光地である清水寺や金閣寺を訪れ、純和風の昼食をいただいて、日本の歴史と文化に触れた一行。サンマテオ市で待っている友人や家族へのお目当てのお土産も購入して、日本を満喫してくれました。「秋の日本は過ごしやすくていいね」と10回以上真夏に来日した経験を持つジョージさん。「春夏秋冬、どの季節も違った楽しみがあるので、選手の家族の皆さんにもぜひまたゆっくり遊びに来てもらいたいな」と同行した豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節が声をかけていました。





この日は野球の試合はオフにして、思いっきり楽しむ一日！夜には、豊中市少年野球連盟主催の BBQ ナイトが開かれました。サンマテオ市訪問団と、ホストファミリー、サポートスタッフや関係者を招待して、服部緑地公園内のバーベックマルシェでBBQ パーティ。過去に親善使節としてサンマテオに派遣されたメンバーのサプライズ参加もありました。食べきれないほどのご馳走でエネルギーチャージ！明日の親善試合に備えます。

会場のあちらこちらでは、手土産を渡していたり、近況を報告したり、サンマテオでの思い出話に花を咲かせていたり和気あいあいと過ごす夜となりました。



笠井シェフの
スペシャルローストビーフ登場！！



杉浦会長からリー市長へフォトフレームと
和柄の風呂敷のギフトが贈られました。





2023 年第 11 回目のサンマテオチーム来訪による親善試合結果は、豊中チームはイースト・ウエストそれぞれが2戦ずつ参加し、豊中チーム1勝、サンマテオチーム3勝となりました。



最終日に予定されていた恒例の交流試合は、雨で中止となったものの、両チームともに全力を出し切った野球交流となりました。



1979 年以来少年野球親善交流を支えてくださった皆さんのおかげで、現在も両市相互派遣の交流が続けられていることに感謝申しあげて、記念すべき姉妹都市提携 60 周年記念交流は幕を閉じました。



Special Thanks

■ホストファミリーの皆さん

■ダイワマルエス株式会社

■株式会社ベルエポック



10月3日に豊中へ到着してから7日間お世話になったホストファミリー。豊中市少年野球連盟杉浦会長から協力いただいた10家庭のホストファミリーに、今回の交流事業への理解と協力への感謝を込めて、感謝状が授与されました。

サンマテオの選手たちからも、感謝とお別れの言葉を伝えてもらいました。初日の対面式では緊張した面持ちだったみんなも、すっかり打ち解けている様子ですが、今度はお別れの時。涙をこらえながらメッセージに気持ちを込めて伝えます。ホストファミリーの皆さんからも、「最初は不安ばかりだったけれど、今はかわいい息子が増えたみたいで、この一週間は過去一番賑やかだった!」「やってみるまでは分からなかったけれど、本当に受け入れてよかった!この機会に感謝しています」といった言葉もいただくことができました。 期間中どんな

ときにも、真摯に対応してくださったおかげで無事に終えることができました。

ホームステイという形態で受け入れてこられたからこそ、40年を超える少年野球の親善交流が継続してこられたのだと確信したセレモニーでした。



Thank You Very Much and See You Again in Toyonaka or San Mateo !



祝
提携60周年

Strong Bond
Between
San Mateo
&
Toyonaka
絆

ありがとう





豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節派遣報告

派遣期間  2023年7月26日～8月1日

2020年度豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節 まつだ 松田 そら 

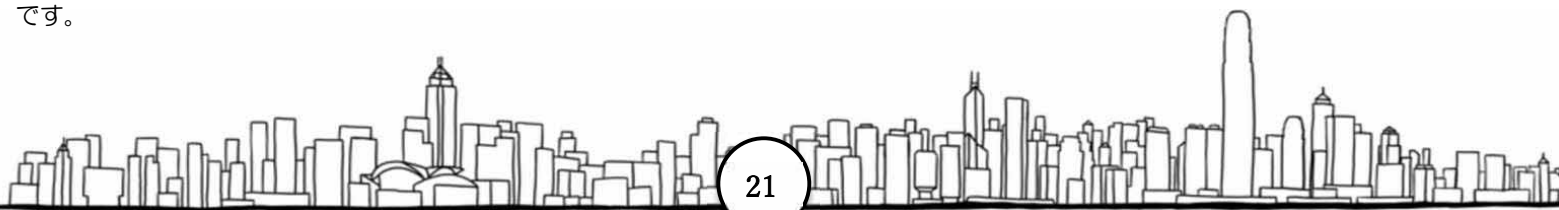
今回のサンマテオ市派遣を通じて、「英語を話せる」ということの重要性・必要性を大に感じることができました。幼い頃から学んでいた英語を活かし、たくさんの人と様々なトピックで会話することができ、すごく楽しかったという印象でした。英語を話すことが出来たから、ホストファミリーとたくさん会話をし、思い出に残る経験をすることができ、様々な場所・歴史・文化について学ぶことができ、そして、とても仲の良いお友達ができました。

現在私は英語科教職課程を履修している学生ですが、今後日本の英語教育に関わるという点で、「英語」について考える機会になりました。「英語」は世界の共通言語とされていますが、日本では、英語教育に力を入れたとしても文法ばかりが先行され、英会話の習得には程遠いというのが現状であり、そこが問題だと考えていました。その最中で、今回のサンマテオ市派遣は、「英語が話せる＝人と会話ができる、コミュニケーションが取れる」その重要性に改めて気づき、「英語が話せる・使えるようになる英語教育」が今後の日本に必要なであると強く感じました。使える英語を身につけ、コミュニケーションが取れてこそ新たな出会いが生まれ、その様々な出会いが視野を広げ、世界を明るくしてくれるだろうと改めて気づくことができる派遣でした。



サンマテオで迎えてくださった人からもう一つ、

「Happyでいること」の大切さをも学ぶことができました。私も普段から笑顔でいることを心がけていますが、アメリカの人はより、Happyでいられることを最重要にしているように感じ、お別れする時に思わず涙を流してしまった私に対して、『Be happy!』『smile!』と声をかけてくれ、本当に笑顔を大切にしているのだなと感じました。サンマテオ滞在中数えきれないくらい笑い、楽しい時間を素敵な人々とすることができたと感じました。今回出会った人との関係性を今後も大切に、また必ずサンマテオを訪れたいと思います。姉妹都市交流60周年まで続いているプログラムの一員として関わることができたことをすごく嬉しく思い、次は自分が今後の豊中とサンマテオを繋げていく人になる必要があると感じました。70周年、80周年とこれからも続いていく海を超えた姉妹都市交流に今後もなにかの形で関わっていきたいです。



2020年度豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節 はやし ひまわり 林 白茉莉



2020年の夏、COVID-19の影響で親善使節の派遣事業が中止になり、サンマテオ派遣を諦めていました。しかし2023年度使節派遣が決定した際に、2020年度の二人も派遣しようと多くの人がご尽力してくださいました。

空港で出迎えてくださったサンマテオ市の職員のパトリスさん。2日目にはリー市長が市役所でドーナツパーティーを開いてくださいました。そこでは、各々の英語のスピーチを発表し、リー市長のご自身のルーツやご家族のお話を聞きすることができました。

ホストファミリーのオースティンさんは子どもの教育に携わっていらっしゃるって、言語に精通しておられました。私に言語の習得の楽しさや上達するためのコツを教えて下さりました。ホームステイ中、オースティンさんが作ってくれる挽きたてコーヒーと手作りマフィンが私の寝起きを助けてくれたのは言うまでもありません。

オースティンさんのパートナーであるコニーさんは、スタンフォード大学病院に勤務している精神科医の女医さんでした。アメリカと日本での大学入試制度の違いから、社会問題までいろいろなトピックを話しました。医師を目指す私にとってコニーさんは憧れであり、これからの私の目標となりました。

今まで日本で勉強し培ってきた自分の英語力を総動員し、積極的に自分から話すことができました。たとえ文法や語彙力が拙くても、自分が話したいという気持ちさえあればコミュニケーションできるということを感じることができました。

同じ時間を共有して、一緒に美味しいものを食べたり、美しい景色を見たり、アクティビティを楽しんだりすることを通して、その人の性格や価値観を知ることができるからです。出会う人、一人一人をもっと知りたい！仲良くなりたい！という好奇心さえあればいつでも世界への扉は開かれています。

サンマテオ市でたくさんの方に出会い、一生ものの絆を築くことができました。そして、自分の思い描く将来像が膨らみ、もっと自分の人生を有意義にできるように、これから将来やりたいことが増えました。アメリカの壮大なスケールの景色を見ることも、もちろん楽しかったです。しかしそれ以上に現地の方とコミュニケーションする時間、ホストファミリーとテーブルを囲みじっくりと話す時間が何よりも私にとって刺激的でした。それと同時により具体的に、細かく自分の意見や気持ちを伝えられない自分の英語力の未熟さを痛感しました。これからももっと英語を勉強して、次会う時にはより成長した自分を見せられるように日々努力を積み重ねて行きたいです。今自分がどのような目標や理由で頑張っているのかがより明確になっています。そして必ず医師になると誓いました。

異なったルーツや文化を持つ者同士が互いに意見を尊重し、学びあい楽しさを共有することは、自分から行動しなければ経験できないと思います。このような貴重な経験を与えてくださった豊中市の方、そしてサンマテオ市の方に感謝の気持ちでいっぱいです。二十歳になった私にとって、サンマテオ市訪問は確実に人生の転機となりました。ホストファミリーのオースティンさんとコニーさん。姉妹都市協会の方、サンマテオ市・豊中市の職員の皆様、サンマテオクラブの皆様、そしてサンマテオで出会った全ての人に感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。



今回のサンマテオ市派遣は、毎日が新しい発見や体験で溢れていた。

その中で私がお伝えしたいことは2つある。

1つ目は、サンマテオの多様性だ。サンマテオには、シリコンバレーで働いている外国人や留学生が多く、色々な人種の方々がいらっしゃる。そのため、街を歩くと看板がスペイン語であったり、中国語で話しているグループが多く見られたりした。現地でお話した方々の中にも、親戚なのに国籍や第一言語が違うという話を聞きとても驚いた。

そういった環境のためか、サンマテオ市民一人ひとりが、文化や人種の違いを自然と認め合っており、社交的な方々が多かったように思う。例えば、初対面の人は力強い握手をして、私や豊中市のことについてたくさん質問をしてくださった。相手のことをもっと知りたいという好奇心が態度や表情に現れていたのも、私もシャイな気持ちを忘れ、沢山の人の輪に入って会話できた。

ある日、訪れたモールの店員がスペイン語で会話をしていたので、スペイン語を勉強していると話しかけたらその場で会話練習をしてくださった。日本では初対面の人とあまりラフな会話をしないので、そのカジュアルさや人懐っこさに感銘を受けた。



そういった開かれたマインドが、アメリカという多文化共生の国を創り上げているのだと思う。日本人はアメリカ人と同じく親切な人が多い一方、内気なために初対面の人と打ち解け合うのに時間がかかりがちだ。そこがアメリカ人と対照的な点であり、日本がますます国際化していくための課題であると私は気付かされた。



2つ目は、カリフォルニアの自然環境だ。サンマテオ市内は、朝晩は上着がないと耐えられないほど冷え込み、とても乾燥していた。セントラルパークのミュージックフェスタに参加して行っていたとき、沢山の人が近くに集まって座り各々が会話や音楽を楽しむ姿が見受けられた。夜で気温がかなり低かったからか、人と人との距離が物理的に近く、和気あいあいとした雰囲気包まれていた。私も近くに座っていた現地の方々にも話しかけて自分が親善使節としてサンマテオを訪れたことをお伝えすることができた。

一方、週末に訪れた南部のサンタクルーズはとても温かい気候で太陽がよく照っていた。サングラス姿でビーチバレーを楽しみ、フットボールする景色はまさに西海岸を象徴するものだと感じた。

日本人とちがって、ゆったりとした時の流れを心のままに享受しているアメリカ人の姿に羨ましさを覚えた。その地の気候が、サンマテオの方々の市民性と町の雰囲気を作り出している要素の一つであることを学んだ。姉妹都市派遣で行ったからこそ、現地の様子や人々の生活をより身近に感じられた。私の価値観を大きく変える経験を提供してくださったサンマテオの方々には感謝の気持ちでいっぱいだ。



5日間という短い時間でしたが、現地の姉妹都市協会の方々を中心に、素敵な出会いと支えにより充実した日々を過ごすことが出来ました。

現地では市役所や地域のコミュニティセンター、警察署や図書館など市が運営する場所を中心に訪問しました。

サンマテオ市役所ではリー市長と朝食をとりました。

私たちの披露したスピーチ内容について話を深めたり、市内の施設や豊中についてもお話ししたりしました。

大きな公園で開かれた音楽フェスに足を運んだ際には、多くの現地の姉妹都市協会の方と一緒に過ごしました。そこでは私たち親善使節が豊中市から訪問中ということが市民に告げられ、温かい拍手をいただきました。

他にも図書館に訪れた際には、館長さんに館内ツアーをしていただき、警察署を訪れた際には、署内にある射撃場や911がつながるディスパッチも特別に見学させていただきました。

未就学児が参加していたサマースクールにお邪魔した時には、マチカネワニの絵本をプレゼントしました。

週末にはサンフランシスコに観光に連れて行ってもらいました。

本場のクラムチャウダーの付け合わせのパンが酸っぱいことや、観光地ならではのミックスカルチャーが独特な雰囲気を醸し出していたのが印象的でした。

またホストファミリーにはスタンフォード大学やシリコンバレーなど、世界的に有名である地域に連れて行ってもらいました。



今回のサンマテオ市派遣の経験を基に、これからもっと主体的に行動し、多くの人に会い学びを得たいと思います。また、私たちが現地で歓迎されたように、10月にサンマテオ市から訪問される、少年野球グループのみんなが不安のないスムーズな楽しい滞在になるために、英語力を向上させるのはもちろん、大いに歓迎できるように準備を進めたいと思います。





1972年の第1回大会から第49回大会まで続けてきました高校生英語弁論大会は、今年度から豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節選考会とタイトルや審査基準を変更し、2024年2月4日（日）に「令和5年度(2023年度)豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節選考会」として初めて開催されました。

およそ60年前の当協会設立当時には、まだ発展途中であった英語教育推進にも貢献しようと始まったのが同大会でした。しかし、英語教育が当たり前のものになってきた今日においては、インターネットの普及や情報網の発展にともない、人と人のコミュニケーションが希薄になってきていることが懸念されています。現代においては、異文化交流やコミュニケーションこそが大切だと考えます。当協会では英語力重視の高校生英語弁論大会を一新し、今年度から豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節選考会として、豊中市の親善使節としてサンマテオ市との交流を深めるという役割にふさわしい人材を選考したいと考え、今回の変更に至りました。

本大会には豊中市内外の5校より7人の出場者にご参加いただきました。

審査は大阪女学院大学客員研究員のブライアン・ティーマンさん、同じく非常勤講師のウィリアム・クラインさん、豊中・サンマテオ姉妹都市協会より、鳥越理栄さん、高橋孝子さんの4名にお願いいたしました。



結果、豊中市長賞は「サンマテオで私だけができること」で、大阪国際空港からサンマテオへの国際線開設の夢を語った豊中高等学校の沢多元気さんが受賞。豊中・サンマテオ姉妹都市協会会長賞は、「幸せの共有」というタイトルでマラソンの楽しさを語った高槻高等学校の森悠珠さんが受賞されました。サンマテオ市と豊中市の両方で市民マラソン大会を企画して開催したいというアイデアはとても斬新でした。また、国際ソロプチミスト特別賞は平川真衣さん、優秀賞は秋葉萌依さん、井上苺さんのお二人が受賞されました。



豊中市長賞
さわだ げんき
沢多 元気



豊中・サンマテオ姉妹都市協会会長賞
もり ゆず
森 悠珠



国際ソロプチミスト特別賞
ひらかわ まい
平川 真衣



優秀賞
あきば めい
秋庭 萌依



優秀賞
いのうえ まい
井上 母

令和5年度(2023年度) 豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節選考会 受賞者

賞	受賞者	高校名	演題
豊中市長賞	SAWADA GENKI 沢多 元気	豊中高等学校	What only I can do in San Mateo サンマテオで私だけがことができること
豊中・サンマテオ 姉妹都市協会会長賞	MORI YUZU 森 悠珠	高槻高等学校	Sharing Happiness 幸せの共有
国際ソロプチミスト 特別賞	HIRAKAWA MAI 平川 真衣	箕面自由学園高等学校	My special skill that I want to perform in San Mateo サンマテオで披露したい私の特技
優秀賞	AKIBA MEI 秋庭 萌依	梅花高等学校	Bridging Cultures 文化の架け橋
優秀賞	INOUE MAI 井上 母	北野高等学校	From Kompeito to the world 金平糖から広がる世界

審査員からは以下のような激励の講評をいただきました。

高橋さん：志望理由書のイメージと本番では違う印象だった参加者も多くて驚きました。これからに期待しています。

鳥越さん：順位をつけるのは本当に大変です。この機会に英語が好きになってくれることを願っています。

ウィリアム・クラインさん：毎年楽しみにしています。みんなのアイデアや想いをシェアしてくれてありがとう。

出場者全員に賞を与えられないことが非常に残念です。

それくらいみなさん素晴らしい内容でした。

ブライアン・ティーマンさん：これからも失敗を恐れず
様々なことに挑戦してくれることを願っています。

当日は、2023年の夏にサンマテオ市へ派遣された4人の親善使節のうち、林さんと外林さんによる派遣報告もしていただきました。2024年度豊中サンマテオ姉妹都市親善使節に任命された、沢多元気さんと森悠珠さんの二人は今年の夏にサンマテオ市へ派遣されるほか、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催のさまざまな交流活動に参加される予定です。



※ 国際ソロプチミスト特別賞は、国際ソロプチミスト豊中-千里からの協賛により設けられています。

San Mateo City Council 2024



市長：Mayor Lisa Diaz Nash



副市長：Rob Newsom Jr.



Adam Loraine



Amourence Lee



Rich Hedges

San Mateo City Council 2025



市長：Rob Newsom Jr.



副市長：Adam Loraine



Lisa Diaz Nash



Danielle
Cwirko-Godycki



Nicole Fernandez

2024 年度事業

- ・ 親善使節のサンマテオ市派遣～派遣報告会
- ・ オンライン交流の開催（3 回程度）
- ・ 豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節選考会の開催（2025 年 2 月予定）
- ・ 姉妹都市提携ニュース 2024（第 54 号）60 周年記念特別号の発行

提携ニュース第 54 号姉妹都市提携 60 周年記念特別号 令和 6 年（2024 年）12 月発行

豊中・サンマテオ姉妹都市協会（事務局：豊中市 都市活力部 魅力文化創造課内）

TEL：(06) 6858-2863 FAX：(06) 6858-3864

E-mail：scat@city.toyonaka.osaka.jp